



現在、新型コロナウイルス感染拡大の情勢ではありますが、十分な感染防止対策を施しながら「内部の絆を深める目標」に向けて文化祭を開催します。マスク着用、入場制限、飲食なし、窓の開放などの対策を取りながら規模を縮小して実施します。
今後の情勢によっては内容の変更・中止もあります。



第54回 内部地区文化祭

皆さまのご参加・ご来場をお待ちしています

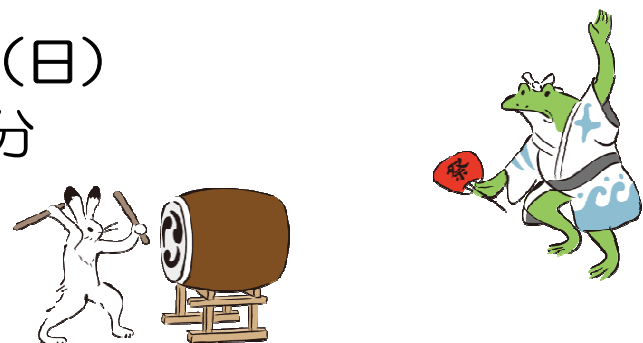
◆日時 令和4年10月30日(日)

8時45分～12時30分

◆会場 内部小学校

◆今年のイベント

- ☆小・中学生優秀作文発表、幼稚園と両小学校の合唱はありません
- ☆グラウンドでのバルーンアートを計画しています



◆お知らせ・注意事項

- ☆プログラムは10月に全戸配布いたします
- ☆雨天決行。ただしその場合は内容に変更の可能性があります
- ☆駐車場はありません。自転車または徒歩にておいで下さい
- ☆スリッパをお持ちください



◆問い合わせ先：内部地区団体事務局 Tel 347-1224

主催：内部地区社会福祉協議会・文化祭実行委員会 後援：内部地区連合自治会



作品展示・舞台発表・催し物 参加者・出展者を募集します



募集要項

◆募集内容

【作品展示】手芸・工芸品・押し花・生花・写真・絵画(30号まで)・彫刻・短歌・俳句・絵手紙・盆栽・収集品(展示可能なもの)・書道学生(小学4年生～中学生)毛筆硬筆ともに八つ切りの台紙に半紙サイズの作品を貼ってください・書道一般(高校生以上)半折までの大きさとし

- ☆作品は原則として一人一点とさせていただきます
- ☆搬入：10月29日(土)午後1時～午後2時(会場へ)
- ☆搬出：10月30日(日)午後～(当日中に搬出) ※時間厳守でお願いします



【舞台発表】舞踊・演奏・演武・その他 発表時間 各10分

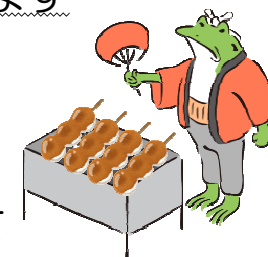
☆時間の都合上、出演数を制限しますのでご了承ください

【催し物】バザー・展示・ゲーム・食べ物コーナー・その他

※現地での飲食はできません。持ち帰りをお願いします

◆その他

- ☆参加された方には、記念品を進呈いたします
- ☆舞台発表の順番や時間は全体の進行状況などにより調整させていただきます
- ☆作品の展示場所につきましては文化祭実行委員にご一任願います
- ☆ゴミは各自でお持ち帰りください



◆申し込み

申し込み書は内部地区団体事務局に用意しています。FAXご希望の方はお電話ください。

☆申し込み締切日：

9月15日(木)まで

☆受付：平日9時～15時
(11:30～12:30は不在)



◆参加者打ち合わせ会議

9月22日(木)

作品展示：18時30分～
舞台発表：19時30分～
申込者は必ずご出席ください
代表者または代理の方がご出席ください

☆場所：内部地区市民センター
本館1階大会議室

3/28 内部小学校5年生が子ども見守り隊へ感謝を伝える



3月28日内部小学校終了式の当日朝、小学校に通う学童を代表して5年生の学童たちが、うつべ子ども見守り隊の方々に「1年間守ってもらってありがとう」の言葉と共にお花の贈呈式がありました。

うつべ子ども見守り隊(内部小学校区)一同は感激し、来年度も継続して頑張りたいと意欲を燃やしていました。

「おじさんおはよう」、「今日は元気だなー」、「走っちゃダメだよ」と何気ないちょっとした会話の繰り返し、こども達との距離を縮める第一歩です。

5/24 内部小3年生が町かど博物館・杖衝坂を見学

5月24日(水)内部小学校3年生の63名が「地域の探検」にうつべ町かど博物館と杖衝坂を訪れました。学校では総合学習の時間のなかで一部を郷土の学習に充て、地域内の名所や史跡をめぐる「地域の探検」を行っています。



学校から約1.3kmの博物館まで歩いてやってきた生徒は3つの班に分かれて町かど博物館内、杖衝坂と芭蕉句碑、血塚社と一里塚を順に見学、学習しました。3年生はまだ歴史は習っていないとあって説明者は苦勞をしているようでしたが、生徒たちは熱心にメモをとっていました。

6/19 内部線100周年記念講演会



大正12年(1922年)の内部線の開通から2022年6月21日に100周年を迎えることから、記念講演会が内部地区市民センターで開かれました。内部地区まちづくり推進協議会が主催し約50名が参加しました。

講師と演題は次のとおりです。

- ・特定非営利活動法人四日市の交通と街づくりを考える会副理事長 宗像基浩氏:「内部線100年の歴史とこれからの100年に向けての期待」
- ・同会専務理事で江戸川大学社会学部現代社会学科准教授の大塚良治氏:「鉄道の社会的便益をどう考えるか: BRTへ転換した路線の現状を踏まえて考える」
- ・四日市市役所都市整備部公共交通推進室室長藤田貴氏:「内部線の現在と未来: まちづくりにおける公共交通の大切さ」

7/3 3年ぶり 第38回内部川 清掃



「みんなで参加、自分たちの手で守ろう内部川」を合言葉に、内部川清掃が7月3日(日)行われました。令和2年(第36回)、3年(第37回)を休止したため3年ぶりの開催となりました。

台風4号の影響を受けて雨模様でしたが、今年も内部地区の住民や関係者など17団体から655名が参加しました。

参加者は特定外来種であるアレチウリの駆除区域も含めて8つの区域に分かれて堤防や道路わきのごみを拾って歩きました。

7/9 10年後の我が家と地域を考える空き家問題勉強会



7月9日(土)四日市市波木が丘町で同町自治会が主催する「空き家問題学習会」が開かれました。

波木が丘町は内部地区では最初の大規模造成団地として、1982年(昭和57年)に生まれた多くの郊外造成住宅団地の例にもれず波木が丘町においても高齢化が進み、団地内に少し

ずつ空き家が目立ち始めてきています。波木が丘町自治会は「空き家」がもたらすであろう多くの問題から住環境を守るための最初の第一歩としてこの勉強会を開催することになったものです。

7/23 夏休み地域講座 あすなろう鉄道をもっと知ろう

7月23日(土)うつべ町かど博物館で「あすなろう鉄道をもっと知ろう」と題した夏休み地域講座「鉄道教室」が開かれ親子11名が参加しました。

この催しは内部線100周年記念事業の一つとして、子供たちに地域の歴史文化を知ってもらうため、また夏休みの自由研究の一助として社協歴史文化部が主催しました。



講師は町かど博物館のスタッフであり、現役のあすなろう鉄道の運転士である上野理志さん。他にはない内部線の信号機の話など運転士さんならではの珍しい話題に、受講した子どもからは「運転士さんの話が聞けてよかった」と感想を話してくれました。

7/24 町かど博物館マルシェ

7月24日(日)うつべ町かど博物館で地域の特産品を使ったマルシェが開かれ100名近い来場者で賑わいました。

地元の「有竹養豚場」の豚肉、「うつべ農園」の米を使った豚丼、「北小松ファーム」の味噌類、および野菜やその他の加工品の即売の他、飲み物や



スイカのサービス、園内で収穫した手作り梅干しの提供もあり大変好評でした。

この日行われたうつべ☆スターによるロゲイニング大会のおもてなしコーナーに設定されたこともあり多くのランナーが立ち寄っていました。

7/30 夏休み地域講座 内部の歴史と采女城のおはなし



うつべ町かど博物館の夏休み地域講座第2弾「歴史教室」が7月30日(土)に開かれ、親子連れ11名が参加しました。「内部の歴史」と題して有竹正雄さんが、「采女城の歴史」と題して稲垣哲郎さんが話しました。

内部の歴史では、内部川添いの縄文・弥生時代遺跡、三重の由来となった日本武尊の故事、壬申の乱に登場する三重郡家、神社・寺院の歴史など。采女城の歴史は、采女城跡の位置・構造、采女城の築城と織田信長による落城説、想像される攻防の様子と落城にまつわる伝説、采女城ゆかりの史跡と地名などの話がありました。

8/5 児童館工作教室「コリントゲームをつくろう」を開催

8月5日(金)、内部地区市民センターにおいて内部地区市民センター主催の夏休み子供工作教室が開催されました。

小学生18名と保護者10名の計28名が参加、塩浜児童館職員から作り方の説明を受けながら親子で熱心に作業に取り組みました。



完成したのは、なんと! 60年程前に夜店やゲーム場で見かけたスマートボールのゲーム器。下絵は子供達の個性が様々な表現され、ドラエモン、海や城の風景画、衣装、動物や昆虫、中には自分の顔を画面いっぱい描きつけていました。全員目を輝かせ、イキイキと描いていました。